



<PRESS RELEASE>

2012年3月10日

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」東北応援プロジェクト

<特別予選大会 in 宮城>

**“被災地、宮城から世界”へ挑戦する決勝大会進出 2チームが決定！**

～特別予選大会 in 宮城 大会結果～

ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 実行委員会

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」(特別協賛:ダノンジャパン株式会社、ダノンウォーターズオブジャパン株式会社)は、3月10(土)、宮城県仙台市のアディダススポーツパークにて、“東北応援プロジェクト”として、<ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 特別予選大会 in 宮城>を実施いたしました。“被災地から世界大会へとつながる”決勝大会出場の切符を巡る熱戦の末、塩釜FC(塩釜市)、多賀城フットボールクラブ(多賀城市)の2チームが、国内決勝大会へと進出することが決定いたしました。

<ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 特別予選大会 in 宮城>では、宮城県サッカー協会が決定した被災ブロックの比例代表チーム計12チームが参加し、予選リーグ、決勝進出チーム決定戦を行いました。開会式での東日本大震災犠牲者への黙とうに始まった当日は、大会アンバサダーである北澤豪さんも駆けつけ、前日から降り積もる雪にも負けず、各選手たちは世界大会につながる決勝大会進出への切符をかけ白熱した名勝負を展開しました。その結果、塩釜FC(塩釜市)、多賀城フットボールクラブ(多賀城市)の2チームが、3月31日(土)・4月1日(日)に東京(駒沢オリンピック公園総合運動場)にて開催される決勝大会へと駒を進めることになりました。

「ダノンネーションズカップ」は、単に小学生サッカー大会を実施するだけでなく、そこに集まる子どもたちに、社会貢献や国際交流に目を向けてもらうことを大会趣旨の一つとしております。本大会はそうした大会趣旨に基づいた社会貢献活動、「東北応援プロジェクト」として、東日本大震災において主な被災地となった東北地方・宮城を大会に参加する人々が一緒に応援し、震災後、なかなかサッカーに打ち込める環境になかった子どもたちに、世界大会への出場を目指して本気でサッカーに打ち込める機会を提供することで、少しでも復興支援のお手伝いができればとの思いから開催いたしました。

今後も、予選大会、決勝大会と熱戦が続くこの「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」に是非ご注目下さい。

<ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 特別予選大会 in 宮城 大会結果>

- 大会名 : ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 特別予選大会 in 宮城
- 開催日時 : 2012年3月10日(土)
- 開催会場 : アディダススポーツパーク(宮城県仙台市青葉区錦ヶ丘 4-78-51)
- ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 決勝大会進出チーム

◆ 塩釜FC(宮城県塩釜市) ◆ 多賀城フットボールクラブ(宮城県多賀城市)

※上記2チームは、3月31(土)・4月1日(日)東京・駒沢オリンピック公園総合運動場で行われる決勝大会へ進出

<本件に関するお問い合わせ>

ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN PR 事務局

担当 株式会社フルハウス 山下・佐野

Tel:03-5413-0293 Fax:03-3401-8085 E-mail [s.yamashita@fullhouse.jp](mailto:s.yamashita@fullhouse.jp)

大会当日のご連絡先: 080-5227-9406(山下)



## 東北応援プロジェクト＜特別予選大会 in 宮城＞ 大会レポート

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」の特別予選大会 in 宮城が3月10日（土）、アディダススポーツパークで開催された。この大会は、昨年の震災によってサッカーをプレーする環境に支障が出た被災地の子どもたちに、真剣勝負の舞台を提供したいという思いから生まれたもので、「東北応援プロジェクト」の一環として実現した。ダノンネーションズカップの予選大会が東北地方で開催されるのは、初めてのこと。

大会当日は、前夜から降り積もった雪でグラウンドはまさに白銀の世界。それでも参加チームの指導者や子どもたちの懸命な除雪作業によって、何とかグラウンド2面のうち1面を確保した。その後予定より1時間ほど遅れて行われた開会式では、塩釜FCのキャプテン雪谷匠君が「昨年は大変な1年でしたが、僕たちが元気にプレーすることでこれまで支えてくれた人たちに恩返しがしたいです」と、荒天を吹き飛ばすような力強い選手宣誓で大会は幕を開けた。

グラウンドの使用が一面となったことを受けて予選リーグは急遽試合数を減らすなどスケジュールを変更して開催。それでも子どもたちは劣悪なピッチコンディションをものともしない熱気のこもったプレーを次々と披露し、大いに大会を盛り上げた。そんな子どもたちの熱さを反映するかのよう、試合を重ねるごとに降雪は弱まり、いつの間にかピッチ上の雪もほとんど消えた。予選リーグ数試合を消化した後は、ついに青々としたグラウンドコンディションに戻っていた。

予選リーグを勝ち抜き、その後の代表決定戦も制して全国大会の切符を手にしたのは、塩釜FCと多賀城フットボールクラブの2チーム。全国大会への出場が決まる代表決定戦で塩釜FCは高砂サッカースポーツ少年団を圧倒して4対0で完勝。多賀城フットボールクラブも食い下がる鹿折フットボールクラブを3対0で下し、3月31日と4月1日に東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場で開催される決勝大会出場を決めた。

また、予選リーグ終了後には、昨年の東北応援プロジェクトでフラッグを届けた閉上サッカースポーツ少年団とFCインパルスの子どもの低学年の子どもたちによるエキシビジョンマッチも開催。大会アンバサダーの北澤豪氏も一緒にプレーして場内を大いに盛り上げた。背丈が小さな子どもたちがボールを一生懸命になって追う愛くるしい姿に見守る父母たちも懸命に声援を送った。

閉会式ではその北澤豪氏が「この大会はずっと東北で開催したかったんです」と、子どもたちに向けてメッセージを伝えた。「昨年の7月にもここに来てスクールを開催しましたが、僕はどうしても公式戦という真剣勝負の舞台を作りたかったんです。今日はあいにくの天候となりましたが、子どもたちが真剣にプレーしてボールを追ってくれたことに本当に感謝しています。この大会は世界に通じていますから、ぜひ夢に向かって力強く走ってください！」と、力込めると子どもたちや父母たちから大きな拍手が沸き起こった。終日降雪に見舞われる悪天候の中での特別予選大会 in 宮城となったが、子どもたちや指導者や父母たちの熱気と、開催者側の大会を盛り上げようとする情熱とが相まって大会は大成功で幕を閉じた。



**予選リーグ**

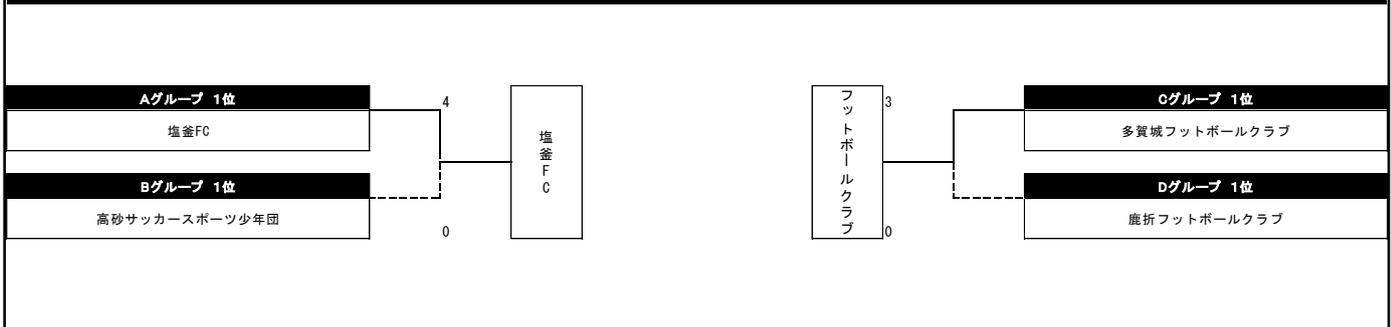
A	チーム名	塩釜FC	関上サッカースポーツ少年団	FC IMPULSE	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
A 1	塩釜FC	/	10 ○ 0	1 ○ 0	2 勝 0 分 0 敗	6	11	0	11	1
A 2	関上サッカースポーツ少年団	0 ● 10	/	0 ● 3	0 勝 0 分 2 敗	0	0	13	-13	3
A 3	FC IMPULSE	0 ● 1	3 ○ 0	/	1 勝 0 分 1 敗	3	3	1	2	2

B	チーム名	開北FCファンタジスタ	わたりサッカースポーツ少年団	高砂サッカースポーツ少年団	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
B 1	開北FCファンタジスタ	/	0 ● 2	0 ▲ 0	0 勝 1 分 1 敗	1	0	2	-2	3
B 2	わたりサッカースポーツ少年団	2 ○ 0	/	0 ● 1	1 勝 分 1 敗	3	2	1	1	2
B 3	高砂サッカースポーツ少年団	0 ▲ 0	1 ○ 0	/	1 勝 1 分 0 敗	4	1	0	1	1

C	チーム名	多賀城フットボールクラブ	やまもとJFC	石巻山下サンファンFC	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
C 1	多賀城フットボールクラブ	/	7 ○ 0	1 ○ 0	2 勝 0 分 0 敗	6	8	0	8	1
C 2	やまもとJFC	0 ● 7	/	0 ● 3	0 勝 0 分 2 敗	0	0	10	-10	3
C 3	石巻山下サンファンFC	0 ● 1	3 ○ 0	/	1 勝 0 分 1 敗	3	3	1	2	2

D	チーム名	古城FC	鹿折フットボールクラブ	気仙沼シャークスSC	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
D 1	古城FC	/	0 ▲ 0	0 ▲ 0	0 勝 2 分 0 敗	2	0	0	0	2
D 2	鹿折フットボールクラブ	0 ▲ 0	/	1 ○ 0	1 勝 1 分 0 敗	4	1	0	1	1
D 3	気仙沼シャークスSC	0 ▲ 0	0 ● 1	/	0 勝 1 分 1 敗	1	0	1	-1	3

**決勝進出チーム決定トーナメント**





## ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 大会概要

- 大会名称 :ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN
- 主催 :ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 実行委員会
- 主管 :財団法人東京都サッカー協会、財団法人愛知県サッカー協会、  
社団法人大阪府サッカー協会、社団法人宮城県サッカー協会
- 後援 :文部科学省、外務省、財団法人日本サッカー協会、一般社団法人共同通信社
- 特別協賛 :ダノンジャパン株式会社、ダノンウォーターズオブジャパン株式会社
- 協賛 :SPX フローテクノロジージャパン株式会社、  
北関東トウエンティワン流通事業協同組合、鴻池運輸株式会社、清水建設株式会社、  
ダイセイエブリー二十四株式会社、高砂熱学工業株式会社、株式会社竹中工務店、  
日世株式会社
- 協力 :アディダスジャパン株式会社、凸版印刷株式会社、プラス株式会社

### ■大会趣旨

- ・世界大会でプレーできる切符を手にする機会を、日本の子供たちに広く提供する。
- ・サッカーを通じて、フェアプレー精神、チームワーク、他チームとの交流や親睦を図り、健全な心身を育てる場を提供する。
- ・サッカーを通じて、子供たちに社会貢献や国際交流に目を向けてもらう機会を提供する。

### ■大会日程

#### <予選大会>

- ・大阪会場予選 2012 年 3 月 4 日(日) 大阪府・J-GREEN 堺
- ・特別予選大会 2012 年 3 月 10 日(土) 宮城県・アディダススポーツパーク
- ・愛知会場予選 2012 年 3 月 18 日(日) 愛知県・豊田市運動公園
- ・東京会場予選 2012 年 3 月 25 日(日) 東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場

#### <決勝大会>

2012 年 3 月 31 日(土)、4 月 1 日(日) 東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場

### ■参加チーム数

#### <予選大会>

大阪・愛知・東京予選会場 各 32 チーム × 3 会場(計 96 チーム)

特別予選大会 12 チーム

#### <決勝大会>

予選大会上位 12 チーム + 特別予選大会上位 2 チーム + 前年度決勝大会ベスト 18 チーム



### ダノンネーションズカップについて

2000年から開催している FIFA 公認の U-12 サッカー世界大会であり、元フランス代表のジダン氏が大会のアンバサダーを務めています。現在は世界 40 カ国で予選を行い、250 万人以上の少年・少女が参加しています。2012 年の日本大会では、東京・愛知・大阪の 3 カ所で予選を行い、今秋ポーランドで行われる第 13 回世界大会に出場する日本の代表チームを決定します。

「ダノンネーションズカップ 2012 in Japan」ホームページ(<http://www.danonecup.jp>)

### “東北応援プロジェクト”について

「ダノンネーションズカップ」は、単に小学生サッカー大会を実施するだけでなく、そこに集まる子どもたちに、社会貢献や国際交流に目を向けてもらうことも、大会趣旨の一つとしています。「東北応援プロジェクト」は、そうした大会趣旨に基づき、社会貢献の一環として、2011 年 3 月 11 日に起こった東日本大震災において主な被災地となった東北地方を、大会に参加するみんなと一緒に応援しよう、というプロジェクトです。

### “特別予選大会 in 宮城”について

東日本大震災の発生から約 1 年。震災発生直後から比べると、被災地の状況は少しずつ変化を見せ、被災地のサッカーを愛する子どもたちにとっても、緊急物資が必要だった時期は過ぎ、今は「本気になってサッカーに挑む」、試合や大会などといった真剣勝負の場が求められています。そこで、2012 年大会においては、「東北応援プロジェクト」として、震災から 1 年後の 2012 年 3 月 10 日に、改めて震災で被害に遭った方々に対しての追悼の意を表すとともに、被災地の子どもたちが参加できるサッカー大会を開催することで、少しでも復興支援のお手伝いできれば、と考えました。

### ダノンジャパンについて [www.danone.co.jp](http://www.danone.co.jp)

ダノンは、25 年以上にわたり、日本の消費者の皆様にも栄養価のあるチルド乳製品をお届けしています。今日では、「ダノンビオ」、「ダノンデンシア」、「プチダノン」、「ベビーダノン」、「ダノンヨーグルト」の製品を取り揃え、おいしさだけでなく、ヘルシーな食品をお届けしています。

### ダノングループについて [www.danone.com](http://www.danone.com)

ダノングループは、フォーチュン 500 に数えられ、世界において最も成功を収めているヘルシーな食品をお届けする企業のひとつです。世界中のできるだけ多くの人々に、食品を通じて健康をお届けすることを使命に掲げています。この使命を達成していくことが、ダノングループの継続的な力強い成長の原動力となっています。現在、全世界において五大洲 120 カ国以上で事業を展開しており、約 8 万人の従業員を擁し、約 160 の工場があります。2011 年度売上 193 億ユーロを誇り、チルド乳製品(世界第1位)、ウォーター(世界第2位)、乳幼児向け食品(世界第2位)、および医療用栄養食の 4 つのビジネスを核としたヘルシーな食品をお届けする企業として確固たる地位を築いています。

Euronext Paris 上場企業。社会貢献活動としては、Dow Jones Sustainability Index STOXX and World, ASPI Eurozone、Ethisbel Sustainability Index に入っています。